

岸田首相へ宮崎牛を贈呈

令和5年2月16日に岸田首相へ宮崎牛を贈呈しました。贈呈された宮崎牛は「第12回全国和牛能力共進会」において、第7区(肉牛の部 脂肪の質評価群)で内閣総理大臣賞を受賞した馬場幸成さんの宮崎牛です。

贈呈時には、岸田首相が「宮崎牛のすきやき重」を試食。「口に入れたらとけるようにおいしい。海外で日本食をPRした際も大変好評だった。これからも国際競争力を持ってPRいただきたい」とのコメントを頂きました。



贈呈の様子

すきやきを試食する岸田首相

宮崎市が餃子日本一×二連覇!!

総務省が実施する家計調査において、宮崎市が2022年のぎょうざ年間「購入頻度」「支出金額」1位を2年連続で獲得しました!

これを記念して、宮崎空港では順位発表セレモニーやみやざき餃子まつり(2月4日~3月28日)を実施。

県内20社34種類の餃子が販売される中に、宮崎ブランドポークを使用した「みやざきブランド餃子」・「肉巻餃子」・「おいも豚餃子」が販売されています。



順位発表セレモニー出席者の皆さん

みやざきブランド餃子も販売中!

空と海の玄関口でスイートピーをPR

◆「ひなたの結婚応援イベント」でスイートピーをPR

11月23日に「フェリーたかちほ」で開催された結婚応援イベントで、スイートピー満載の模擬ウェディングが公開されました。また、船内ではオリジナル品種を展示し、来場者にスイートピーをプレゼント。これから結婚される皆様に、ウェディングとスイートピーの相性の良さを感じていただくイベントとなりました。

◆スイートピーの日PR

1月21日「スイートピーの日」に、宮崎ブーゲンビリア空港で県内外の来場者にスイートピーをプレゼント。出荷最盛期に向け、生産量日本一のスイートピーをPRしました。



スイートピーのブーケで模擬ウェディング

結婚応援イベントでオリジナル品種を紹介

空港でスイートピーをプレゼント

ビーフン市場トップブランド「ケンミン食品(株)」とコラボ

◆好評につき今年も再販!ご当地ビーフン「宮崎ケンミン焼ビーフン」

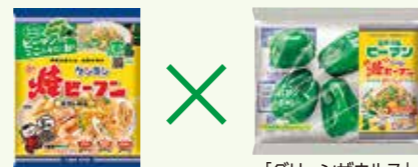
2月10日「みやざき地頭鶏の日」に、ケンミン食品(株)が「みやざき地頭鶏」と「みやざきビタミンピーマン」を使用した「宮崎ケンミン焼ビーフン」の販売を開始。令和3年に商品を発売し、好評につき今年も再販となりました。九州全域のスーパーマーケット等で5万食が販売されます。



「宮崎ケンミン焼ビーフン」

◆ピーマン「グリーンザウルス」×「ケンミン焼ビーフン」コラボキャンペーン

ケンミン食品(株)とJA宮崎経済連が、「ケンミン焼ビーフン」とピーマン「グリーンザウルス」の同時購入で県産青果物とビーフンが200名にあたるコラボキャンペーンを実施(1月1日~2月10日)。「ケンミン焼ビーフン」500万袋にはピーマン「グリーンザウルス」を使用したレシピが掲載されました。



「ケンミン焼ビーフン」

「グリーンザウルス」キャンペーンパッケージ



みやざきブランド『かわら版』

No.9
2023年
春号

みやざきブランド推進本部(宮崎県・JA宮崎経済連)

みやざきブランド産地の動きや品目ごとの取り組みを広く紹介するみやざきブランド『かわら版』。

今回は、新船「たかちほ」「ろっこう」でのみやざきブランドフェア、SSR運動・所得アップPDCA、かんきつプロモーション、ブランド・バリューチェーンパートナー、各種プロモーションについて紹介します。

産地づくり

人づくり

ファンづくり

ブランド戦略

物流体制づくり

取引づくり

商品づくり

令和4年度トピックス

1 「ファンづくり」「物流体制づくり」「取引づくり」

◆WBC侍ジャパン宮崎キャンプ会場で皆さんを笑顔に!

県内外から沢山の方々が集う「ひなたサンマリスタジアム」の会場で各協議会等と連携し、みやざきブランドをPRしました。

2月17日に行われた歓迎セレモニーでは、宮崎牛、宮崎特選米、日向夏、完熟きんかん「たまたま」等を栗山監督、山本選手、戸郷選手に贈呈しました。キャンプ期間中のPRブースでは、宮崎牛、みやざき乾しいたけ、完熟きんかん「たまたま」、みやざき釜炒り茶「釜王」のふるまい等を行いました。おいしいと評判で、皆さん笑顔になっていただきました。



歓迎セレモニーでの贈呈



完熟きんかん「たまたま」を配布

◆新船カーフェリーで「みやざきブランドフェア」開催

宮崎カーフェリー(株)とみやざきブランド推進本部は、2月1日から28日まで、フェリー「たかちほ」「ろっこう」のバイキングレストランで宮崎の旬の食材を楽しむ「みやざきブランドフェア」を開催しました。

フェアでは、宮崎牛や宮崎ブランドポーク、ピーマンや新たまねぎ、完熟きんかん「たまたま」、日向夏などのみやざきブランド農畜産物を使用した、素材の味わいを堪能できるフェアオリジナルメニューを提供。

WBC侍ジャパン宮崎キャンプ等を目的に訪れた大勢の県外客に、みやざきブランド農畜産物の魅力を知っていただきました。

メニュー(一例)

- ・宮崎牛と新たまねぎの牛丼
- ・完熟きんかん「たまたま」の混ぜご飯
- ・宮崎ブランドポーク南蛮 風味たくあんタルタル
- ・県産ピーマンの丸ごと焼き
- ・せんざり大根のスクランブルエッグ
- ・日向夏と小松菜とりんごのスムージー
- ・レアチーズケーキ日向夏ソース
- ・県産いちごのパナコッタ
- など約20メニュー



みやざきブランドフェアレストラン



宮崎ブランドポークの日向夏柚庵漬け(宮崎ブランドポーク、日向夏)



宮崎野菜と塩麹のローストチキン(かんしょ、日向夏、ズッキーニ等)



完熟きんかん「たまたま」のじゃりパン

2 「産地づくり」「人づくり」「取引づくり」

◆「SSR運動」・「所得アップPDCA」運動の取組

【SSR運動】

県の農業長期計画では、耕種農業の産出額100億円アップ※1を目標にしています。高い目標ですが、生産者の皆さんの農業所得を確保し、産地の維持・拡大を図っていくためには、生産量アップさらには産出額アップに向けた取組を進めていくことが重要です。

このため、県では、産地の目指す姿や生産者に取り組んでいただくこと、関係者が取り組むことなどを整理した「品目別振興方針」を作り、「施設園芸」「水稲経営」「露地園芸」の各分野で目標産出額の達成に向けた取組を「SSR運動」※2として展開しています。

※1 平成30年の1,189億円から令和7年に1,287億円に拡大

※2 [S:施設園芸の収量向上]、[S:水稲経営の規模拡大]、[R:露地園芸の作付拡大]の頭文字から「SSR運動」と銘打って展開

【「所得アップPDCA」運動】

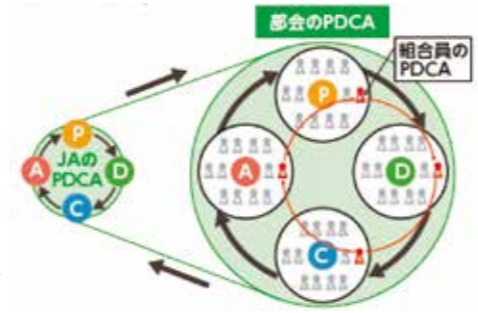
「所得アップPDCA」運動は、組合員・生産部会・JAグループのそれぞれの経営・取組を総点検することにより、PDCAサイクルを確立し、全てのサイクルを連動させることで、農業所得の向上を目指す運動です。

PDCAは、計画(Plan)・実践(Do)・評価(Check)・改善(Action)という観点から管理する考えで「経営」の基本とされています。

これら2つの運動を連動させることにより、生産量の拡大や所得確保につなげ、産出額アップを図ります。



【生産量アップ 農業者の所得確保 産出額アップ】



詳細は
ひなたマフィン 検索



◆生産原価高騰の理解醸成に向けた取組

○取引先の理解醸成

みやざきブランドの価値を共有する取引先「ブランド・パリュチェーンパートナー」である県外6つの量販店と重点市場を巡回し、原価価格・物価高騰等が産地に及ぼす影響を説明して価格への反映を要請しました。



新聞広告

○新聞広告の掲載

12月23日、消費者への理解醸成の取組として、宮崎日日新聞へ広告を掲載しました。

○売場づくりとキャンペーン

2月22日から3月21日まで、近畿地方を中心に展開するイオンリテール近畿カンパニー(85店舗)中四国カンパニー(35店舗)、マックスバリュ西日本、マルナカ(343店舗)において、産地を取り巻く生産原価高騰の状況やGLOBAL G.A.P.認証商品に関する持続可能な農業の取組を消費者に理解いただく売場づくりコンテンツと消費者向けキャンペーンを実施しています。

※エシカル消費(倫理的消費)とは…消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行うこと(消費者庁HPより抜粋)



店舗向けキャンペーンサイトの一部

◆G7宮崎農業大臣会合開催に向けた準備会合で県産農畜産物を発信

2月6日～7日に都内品川プリンスホテルでG7宮崎農業大臣会合「第1回準備会合」が行われました。会場にスイートピーを展示するとともに、レセプションでは県から各国の参加者に対してスピーチを行い、宮崎牛や完熟マンゴー、完熟きんかんなど本県農畜産物の魅力を紹介しました。



提供された完熟きんかんや日向夏



受付会場ではスイートピーを展示

3 「取引づくり」「ファンづくり」

◆完熟きんかん「たまたま」解禁！ —かんきつプロモーション—

今年も完熟きんかん「たまたま」の解禁にあわせ、様々なPRに取り組みました！

○1月16日(完熟きんかん「たまたま」解禁日)

・全国の11市場で解禁PRを実施。大田市場(東京)では、河野知事、中津副会長(きんかん部会)、宮崎市中央卸売市場では坂下本部長がトップセールスを行いました。

・ブランド・パリュチェーンパートナーであるイオン九州では、県内店舗を対象に解禁日から売場をつくり解禁をPR!

宮崎空港では、搭乗客や来場者にみやざき犬ひくんが、完熟きんかん「たまたま」をプレゼントしました。



大田市場(東京)でのトップセールス

○1月20日～3月5日 県外でも展開! 宮崎ひなたフルーツフェア2023

・今年は東京(6店舗)、大阪(11店舗)、福岡(10店舗)でも初開催! 宮崎の54店舗を加えて、全国81店舗で、完熟きんかん「たまたま」と日向夏を使用したオリジナルメニューを提供。

・1月20日には、宮崎市一番街の特設ステージで開催セレモニーを実施。河野部会長(日向夏部会)、中津副会長(きんかん部会)、竹井副社長((株)コンフォートダイナー) が出席し、生産者と飲食店が一体となった取組をPRしました。

○2月11日 完熟きんかん「たまたま」ライブコマースinJA串間市大東

・香港でネット販売されている完熟きんかん「たまたま」の販売拡大を目的に、Facebookを使ったライブ配信を行いました。JA串間市大東の選果場から配信し、堀口部会長(JA串間市大東かんきつ部会)と堀口指導員が、完熟きんかん「たまたま」の特長や選果の流れを説明し、こだわりや美味しさをPRしました。



イオン九州(株) 宮崎店



宮崎空港での解禁PR



JA串間市大東選果場でのライブ配信出演者のみなさん



宮崎ひなたフルーツフェア2023オリジナルメニュー



宮崎ひなたフルーツフェア2023開催セレモニー(左から)中津副会長、河野部会長、竹井副社長